

ノウフクJASについて



ノウフクJAS制定の背景

農福連携の取り組みが拡大する中、農福連携による農林水産物の価値向上が重要とされ、これにより障害者の賃金向上や持続可能な共生社会の実現が期待されています。

このため、農福連携の取り組みによって生産された農林水産物のアピール力を向上させブランド力を高めることを目的として、農林水産省によって平成31年3月に「**障害者が生産行程に携わった食品（ノウフクJAS）**」が制定されました。

ノウフクJAS取得にあたって

障害者が生産行程に携わる生鮮食品や観賞用植物、加工食品に「ノウフクJASマーク」を付けて販売するためには、「**ノウフクJAS認証事業者**」の資格が必要です。この資格を取得するには、農林水産大臣に登録された第三者機関である「登録認証機関」主催の講習会を受け、必要な申請書類を作成し提出します。申請書類は、事務局の書類審査、検査員による検査、そして判定を経て、「ノウフクJAS」および「技術的基準」に適合しているかどうか評価され、適合していれば認証事業者として認定されます。

ノウ フク



日本基金

ノウフクJASマーク

ノウフクJAS認証事業所

(株)ワズ
しいたけランド

(障害者就労継続支援A型事業所)

ノウフク生鮮食品

しいたけ

長ネギ

小ネギ

ノウフク加工商品

いちごジャム

(株)ドリーム
ドリーム農園

(障害者就労継続支援B型事業所)

ノウフク加工商品

乾燥ねぎ

にんにく一味

一味唐辛子

にんにくチップ

梅しそふりかけ

(特非)わらいの館四季
Seed company

(障害者就労継続支援B型事業所)

ノウフク生鮮食品

米

長ネギ

かぼちゃ

そら豆

じゃがいも

ノウフクJASのこれから

日本の食を取り巻く環境は、気候変動や国際情勢の影響で不安定化し、国内農業では人口減少と高齢化が進んでいます。

こうした状況の中、農業と福祉が協力し、障害者などが個々の特性を活かして働く「**農福連携**」は、これまで以上に重要な取り組みとして注目されています。これにより農業に新たな働き手が加わり、障害者の生活の質向上も期待されます。

農業と**福祉**の連携に様々な企業が加わることで、人と地域が元気になる持続可能な社会の実現に向けた可能性が広がっていきます。



ノウフクJAS・農福連携に関するお問合せ

特定非営利活動法人

みやぎセルプ協働受注センター

〒981-1102

宮城県仙台市太白区袋原5-12-1

Mail : info@miyagi-selp.org

Tel : 022-399-6299

